

# 干ばつ災害田復旧の補助率は妙高市並みに上げて！



市によると、今夏の少雨と異常高温により干ばつ被害が出て、水田復旧事業を希望している農家、生産組織などの水田の面積は、当初、75畝を予定していましたが、その後、184畝に増えました。

このため、市は10月30日に臨時議会を開催し、上越市一般会計補正予算を提案するといいです。17日に発表された補正予算では、「干ばつ災害水田復旧事業補助金」は、2827万円から4109万円増えて6936万円となっています。

日本共産党議員団では、干ばつ災害が発生して以降、市内各地で現地調査を行い、被災農家の声を聴いてきました。そのなかで、「上越市のこの事業での補助率は65%で低

い。自己負担35%はきつい。これでは中山間地は救われない」「妙高市の補助率は85%で、上越市よりも補助率が高く、自己負担は少ない。せめて妙高市並みの補助率にしてほしい」「業者の機械を使わないで、自力で対応する者にも支援をしてもらいたい」などの声が上がっています。

日本共産党議員団は9月議会で、この復旧事業の補助率改善を強く訴えてきました。9月27日の農政建設常任委員会では、橋爪団長が委員外発言を求め、「長年にわたる35%の負担が農家などに重くのしかかっている。ここは何とか軽減しないとイケない。県とも協議しながら早急に改善してほしい」と訴えました。これに対して空周一農林水産部長は、

「基本的には基盤整備の負担は個人財産だから農家負担だが、農地の公的な機能もあるので補助を出している。ただ、最近は、少しずつ農家の1人当たりの負担が大きくなっている。その負担が適当かどうか見ていく必要がある。情報分析をしながら考えていきたい」と検討を約束しました。

## 復旧工事前の田んぼの状況を視察

稲刈りは飼料米などの一部を残して終了しました。最近は大きな雨も降っていますので、地滑り災害などが発生しないか心配です。議員団では、復旧工事前の田んぼの状況の視察をスタートさせました。左の写真は、吉川区源地域の干ばつ災害水田の様子です。

## 渇水・異常高温応急対策の申込状況

【仮申込書受付件数】

(9月20日現在)

かん水用機械等整備対策事業	かん水用機械等燃料費助成事業	家畜暑熱被害応急対策事業	家畜暑熱対策電気料助成事業	申込者数
180件	149件	5件	6件	187人

※ 1農業者の仮申込書中、複数の申込みがあることから、合計数は一致しない。

【かん水用機械等整備対策事業のうち、申込機械等の状況】

ポンプ		ホース購入	ポリタンク購入	ポンプ車借上	計
購入	借上				
116台	20台	113巻	17台	1台	267

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.809 2023年10月22日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

### 上越保健所管内 新型コロナ感染症 感染者定点報告数

10月2日～10月8日 8・38 (県4・76)  
上越保健所管内での感染者数は、県平均に比べて2倍近い感染者発生となっています。

## 市政・県政報告会は30日

9月議会は、上越市議会に続いて県議会でも終わりました。市の議員団主催ですが、今回も馬場県議と一緒に報告会を開催します。ぜひお出かけください。

日時：10月30日(月)18:30～  
場所：市民プラザ多目的学習室



「しんぶん赤旗」日曜版は22日号と29日号が合併号です。来週は配達がありません。あらかじめご承知ください。